

ムラサキ科 キュウリグサ属

キュウリグサ (胡瓜草)

Trigonotis peduncularis (Trevir.) F.B.Forbes et Hemsl.

自生環境

道ばた、野原、畑地 など

原産地

日本在来

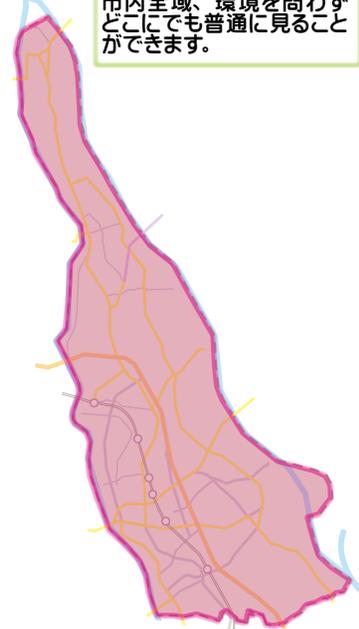
生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

市内全域にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

市内の分布状況

市内全域、環境を問わずどこにでも普通に見ることができます。



特徴

- ☆ 身近な場所のいたるところにごく普通に見られる 1～越年草です。秋に発芽し、ロゼットの状態で越冬し、春に開花結実して枯れるというサイクルを繰り返しています。
- ☆ 穂の先はくるんと巻いています。花が咲き進むにつれて巻きがほどけるようにしてのびていき、最終的には 20～30cm ほどの長さになります。このように巻いたような穂のつきかたをサソリ状花序または巻散花序と言います。穂の部分には葉はありません。
- ☆ 花は直径 2mm 程度と小さいのですが、よく見るととても可愛い姿をしています。花びらは水色で、中心付近はほんのり黄色になっています。つぼみはしばしばピンク色になります。

どこがキュウリ？

キュウリグサのキュウリ、これはあの野菜のキュウリのことです。しかし見た感じはどこにもキュウリの要素がなく、疑問に思う方も多いかもしれませんね。では、どこがキュウリなのか…。葉を揉んで匂いを嗅ぐと、そこに答えがあります。そう、キュウリのような匂いがするのです。草むしりをしている時にふとキュウリの匂いが漂ってきたら、近くにキュウリグサがあるかもしれません。

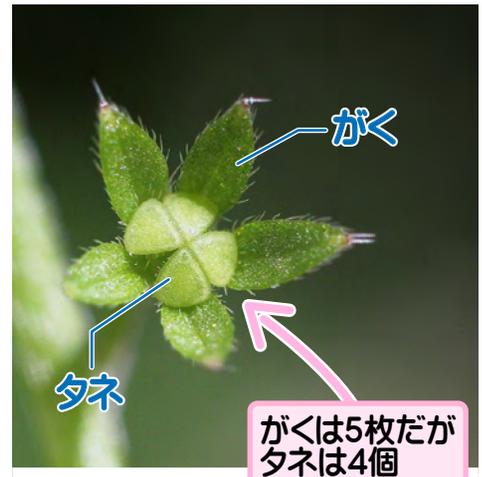


開花の初期段階では茎が短い



つぼみはピンク色

花は水色で真ん中が黄色い



がく

タネ

がくは5枚だがタネは4個



花が咲き進むとともに茎が長くのびていく



穂の先はサソリの尾のようにくるんと巻く



葉は楕円形で、1本の葉脈が目立つ



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

